

2022年7月22日

住友電気工業株式会社

高能率・高剛性ラジアスカッタ SEC-ウェーブラジiasmil RSE 型用 インサートの適用材種を拡充、販売開始

住友電気工業株式会社（本社：大阪市中央区、社長：井上 治、以下 当社）は、高能率・高剛性ラジアスカッタ「SEC-ウェーブラジiasmil RSE 型」用インサートの適用材種を拡充し、2022年8月より販売を開始します。

航空機や発電機に使用されるタービンブレードにはステンレス鋼やニッケル基耐熱合金、チタン合金などの難削材料が使用されています。タービンブレードの加工においては加工する体積が大きく、加工能率の観点から切削速度や送り速度の高速化へのニーズがますます高まっています。

当社はこのようなニーズに応えるため、「SEC-ウェーブラジiasmil RSE 型」を2021年11月より販売しており、このたび、新開発の難削材加工に適した材種「XCS2000」を拡充いたします。新コーティング材種「XCS2000」は、高い耐摩耗性と優れた耐欠損性を兼ね備えた新開発のコーティング「Absotech[®] X」を適用し、圧倒的な長寿命の実現と、工具コストの低減に貢献します。



SEC-ウェーブラジiasmil RSE 型

News Release



1. 特長

●優れた耐摩耗性と耐欠損性

XCS2000 は、強靱超硬母材に当社独自の技術により新開発したコーティング「Absotech[®] X」を適用しています。「Absotech[®] X」は独自の組織制御技術によりアルミニウム含有量の異なる膜 (AlTiN) をナノメートル単位で積層させ、80%を超える高いアルミニウム含有量でありながら、高硬度で抜群の耐摩耗性を発揮します。また、独自の表面処理技術を適用することでコーティングに高い圧縮応力を導入し、優れた耐欠損性を実現します。

2. ラインアップ

インサート (計 6 型番)

3. 販売計画

初年度 1 億円/年、2 年後 2 億円/年

4. 価格

インサート : 1,220~2,280 円 (税抜)

以上